化学変化と質量の比 できる質量・結びつく酸素（10問）　版A

なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　日づけ：＿＿＿＿＿＿＿

(1) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 16.8 g を完全に酸化させると、
酸化マグネシウムは何 g できるか。

(2) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 11.7 g を完全に酸化させると、
酸化マグネシウムは何 g できるか。

(3) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 22.8 g と結びつく酸素は何 g か。

(4) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 6 g を完全に酸化させると、
酸化銅は何 g できるか。

(5) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 5.6 g を完全に酸化させると、
酸化銅は何 g できるか。

(6) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 14.4 g と結びつく酸素は何 g か。

(7) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 6.9 g と結びつく酸素は何 g か。

(8) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 17.7 g を完全に酸化させると、
酸化マグネシウムは何 g できるか。

(9) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 9.2 g と結びつく酸素は何 g か。

(10) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 12 g と結びつく酸素は何 g か。

化学変化と質量の比 できる質量・結びつく酸素（10問）　版Aの答え

※ 酸化物の質量＝金属＋酸素。銅なら 4：1：5、マグネシウムなら 3：2：5 の比を先に書いてから計算します。

(1) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 16.8 g を完全に酸化させると、
酸化マグネシウムは何 g できるか。
＝28 g

(2) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 11.7 g を完全に酸化させると、
酸化マグネシウムは何 g できるか。
＝19.5 g

(3) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 22.8 g と結びつく酸素は何 g か。
＝ 5.7 g

(4) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 6 g を完全に酸化させると、
酸化銅は何 g できるか。
＝7.5 g

(5) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 5.6 g を完全に酸化させると、
酸化銅は何 g できるか。
＝7 g

(6) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 14.4 g と結びつく酸素は何 g か。
＝ 3.6 g

(7) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 6.9 g と結びつく酸素は何 g か。
＝ 4.6 g

(8) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 17.7 g を完全に酸化させると、
酸化マグネシウムは何 g できるか。
＝29.5 g

(9) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 9.2 g と結びつく酸素は何 g か。
＝ 2.3 g

(10) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 12 g と結びつく酸素は何 g か。
＝ 3 g